第32期 中 間 報 告 書

(平成22年1月1日から) 平成22年6月30日まで)



証券コード:4669

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。平素は格別のご高配を賜り、ありがたく厚く御礼申しあげます。ここに当社第32期第2四半期累計期間(平成22年1月1日から平成22年6月30日まで)の営業の概況と決算に関するご報告を申しあげます。

営業の概況

当第2四半期累計期間(平成22年1月1日から平成22年6月30日まで)におけるわが国経済は、政府による緊急経済対策の効果や新興国を中心とした輸出の回復により景気は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、依然として雇用情勢には厳しさが残り、緩やかなデフレ傾向が続くなど、実体経済は先行き不透明感が拭えない状況で推移いたしました。

当社の主たる需要先である建設業界を取り巻く環境は、 民間設備投資の状況は下げ止まりの感がありますが、公 共事業は縮減傾向にあり、引き続き厳しい環境となりま した。

このような状況の下、当社といたしましては、当事業年度を初年度とする3か年の中期経営計画の基本方針である経営資源の集中及びローコスト経営の徹底を実践することで、収益力の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、建設市場の低迷によって賃貸料収入が減少したことから、22億19百万円(前年同四半期比2.0%減)となりました。

利益面につきましては、不採算事業所や人員の削減及び機械導入の抑制などにより固定費を圧縮したことで、営業利益87百万円(前年同四半期は1億68百万円の営業損失)、経常利益35百万円(前年同四半期は2億25百万円の経常損失)、四半期純利益25百万円(前年同四半期は1億44百万円の四半期純損失)となりました。

貸借対照表

			(単位:千円)
科目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1, 572, 563	流動負債	2, 750, 121
現金及び預金	718, 408	支払手形	280, 863
受 取 手 形	232, 809	買 掛 金	102, 777
売 掛 金	544, 121	短期借入金	1, 692, 011
たな卸資産	15, 113	1年内償還予定の社債	200, 000
繰延税金資産	57, 941	未 払 金	336, 659
	,	未払法人税等	6, 812
その他	19, 369	賞与引当金	19, 416
貸倒引当金	△15, 200	その他	111, 580
固定資産	5, 264, 965	固定負債	2, 978, 743
有形固定資産	4, 979, 911	社債	400,000
賃貸資産	2, 722, 309	長期借入金	1, 751, 308
機械装置	2, 262, 386	長期未払金	815, 808
その他	459, 922	その他	11,626
社 用 資 産	2, 257, 601	負債合計	5, 728, 864
建物	324, 818	(純資産の部)	
土 地	1, 724, 967	株主資本	1, 118, 303
その他	207, 815	資 本 金	720, 929
	,	資本剰余金	193, 878
無形固定資産	31, 892	利益剰余金	206, 603
投資その他の資産	253, 161	自己株式	△3, 108
その他	310, 630	評価・換算差額等	△9, 639
貸倒引当金	△57, 469	純資産合計	1, 108, 663
資産合計	6, 837, 528	負債純資産合計	6, 837, 528

(注)1. 有形固定資産の減価償却累計額

6,423,540千円

2. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

捐益計算書

(単位:千円) 科 目 金 貊 上 売 高 2, 219, 892 上 原 売 価 1,569,485 益 650.406 売 上 総 利 販売費及び一般管理費 563,001 益 87.405 業 利 営 外 15,538 業 収 益 営 業 外 費 用 67,076 常 利 益 経 35.867 特 别 損 失 9,887 25, 980 税引前四半期純利益 877 法人税、住民税及び事業税

期 (注)1. 1株当たり四半期純利益

純 利 益

#

3円54銭

25.102

記載金額は1株当たり四半期純利益を除いて千円未満の端 数を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書 平成22年1月1日から (平成22年1月1日から) 平成22年6月30日まで)

(単位:千円) 科 **金** 額 営業活動によるキャッシュ・フロー 596, 707 投資活動によるキャッシュ・フロー $\triangle 82,333$ 財務活動によるキャッシュ・フロー $\triangle 632,927$ 現金及び現金同等物の減少額 $\triangle 118,552$ 現金及び現金同等物の期首残高 484, 257 現金及び現金同等物の四半期末残高 365, 704

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式会社ニッパンレンタル 名 슺 衦 (NIPPAN RENTAL Co., Ltd.) 設 $\dot{\nabla}$ 昭和54年9月10日 沓 本 余 720,929,000円 発行済株式総数 7,112,020株 株 ŧ 数 847名 従 業 員 165名 (パート6名) 事 業 所 本 社 〒371-0013 群馬県前橋市西片貝町四丁目5番地15 **☎** (027) 243−7711 http://www.nippan-r.co.jp 営 業 所 足利、伊勢崎、魚沼、魚沼南 宇都宮、太田、柏崎、加須、桐生

東松山、藤岡、前橋、三郷、妙高 東松山、藤岡、前橋、三郷、妙高

出 張 所

吾妻、板倉、鹿沼、津南、長岡西 なお、上記事業所のほかにサービスセンター を2ヶ所配置しております。

取締役及び監査役

(平成22年6月30日現在)

代表取締役会長兼社長 塚 幸 司 石 車 務 取 締 役 町 \blacksquare 典 久 常 務 取 締 役 岩 松 廣行 取 締 役 石 塚 春 彦 取 締 役 涌 井 利 美 常 監 茂 雄 勤 杳 役 Ш \blacksquare 監 杳 役 宮 崹 敬 久 稔 監 杳 役 林

単元未満株式の買取

- 単元未満株式とは、当社の場合 1 株~999株の株式の ことをいいます。また、1,000株単位の株式を単元株 式といいます。
- 単元未満株式の買取とは、当社が株主様から単元未 満株式を買取ることをいいます。

買取をご希望される株主様は、お取引のある証券会社へお申し出ください。また、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主メモ

事業年度 1月1日~12月31日

剰余金の配当基準日 12月31日

(中間配当を行う場合は6月30日)

定時株主総会 毎年3月 **単元株式数** 1,000株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社

本店証券代行部

公告方法 電子公告

(http://www.nippan-r.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日 本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社に口座をお 持 ち の 場 合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証 券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払い、支 払明細発行については、 右上の「乗り別口座の場 合」の郵便物送付先・電 話お問い合わせ先・お取 扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外 の株式売買はできません。